

## 令和2年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：金沢学院大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

幼児教育の無償化に伴い、幼児教育の更なる質の向上が求められる中、文部科学省は幼稚園教諭二種免許状を有する教員に対し、一種免許状への上進を努力義務として促進している。石川県内の幼稚園および認定こども園等に勤務する幼稚園教諭及び保育教諭についても、幼稚園教諭二種免許状を有する教員の割合が高い。しかしながら、石川県内においては、2018年度まで上進のための免許法認定講習等が開設されていなかったのが現状である。本事業は、石川県下における幼稚園教諭二種免許状を有し、一種免許状への上進を希望する者を対象に、社会や現場のニーズに応えた適切な講習を開発・実施し、石川県内における幼児教育の質的向上に貢献することを目的とする。

#### (2) 事業概要

本学は、平成30年4月に保育士資格・幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状・中学校一種免許状（英語）を取得できる保育士・教員養成課程として、文学部教育学科を開設した。そのため、保幼連携や幼小連携に対応できる教員養成に長けた専門的知識を持った教授陣が配されている。

本学が所在する石川県においては、昨年度石川県私立幼稚園協会による事前調査では、幼稚園教諭二種免許状所有の現職幼稚園教員が100名程度いるとの結果であった。実際、2019年度の本事業を活用した定員80名の免許法認定講習を3科目（5単位）開講したところ、23名の上進希望者が受講し、3開講科目に対して延べ66名であった。

2020年度も引き続き、県下の幼稚園教諭一種免許状への上進希望者のための講習を開発・実施したいと考え、本学では、幼児教育の質の向上に資する幼稚園教諭の免許状の上進が適うよう、最新の教育事情を踏まえた免許法認定講習を開設することとした。2年度目となる2020年度は、昨年度の受講者が上進に適うよう、5単位分の講習を開設し、これにより、昨年度受講者のうち22名の上進が適う予定である。なお、募集定員については、講習内容の質的向上も考え、50名とした。

上記の通り、石川県内で上進を希望する現職幼稚園教諭は100名程度いると考えられる。しかし、本人や勤務園の事情もあり、全員が受講できるわけではない。したがって、本学における幼稚園教諭免許法認定講習については、2021年度以降も継続して開講する予定であり、上進を希望する教諭がおおよそ2年間で必要単位数を取得できるように実施していきたい。

また、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた計画を一部見直し、可能なものは遠隔授業を一部導入することとした。ただし、すべてをオンラインによる遠隔授業とするのではなく、例えば、保育内容の指導法に当たる科目につい

では、実際の教材を活用する内容でもあるため、開講時期を遅らせ、可能な限り対面式の講習を実施することとした。なお、対面式授業を実施する際には、密閉・密集・密接を避ける形で開講し、検温・手指の消毒など感染予防を徹底した。

本事業を通じ、県下の幼稚園教諭に対する資質向上の機会の充実を図るとともに、現場の状況に応答した二種免許状所持者に対する上進講習の在り方について、今後の開講に向け、内容及び効果的な実施方法等を検証していくこととしている。

実施日程（実績）

実施時期	活動の内容		
	実施内容	評価	検討委員会
4月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会での意見を踏まえ講習を開発（開設科目の設定）</li> <li>・石川県私立幼稚園協会等と開催日程協議</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の現職教員が幼稚園教諭一種免許状を取得するための免許法認定講習の在り方の検討</li> <li>・免許更新講習との相互認定実施に向けた学内手続きの確認</li> <li>・免許更新講習及び石川県私立幼稚園協会主催研修との相互認定に向けた内容検討</li> </ul>
4月上旬～5月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施計画の見直し・修正</li> </ul>		
6月下旬～7月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許法認定講習等の認定申請（免許更新講習との相互認定として申請）</li> </ul>		
7月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講希望者への募集開始</li> </ul>		

8月 8/1・19・21・29  8/24・25  2021年 1/23、2/6・13・20	講習の実施  ①「グローバル時代における幼児教育実践概説」開講（於：金沢学院大学2号館講義室）  ②「教育心理学」開講（於：金沢学院大学2号館講義室）  ③「保育内容『表現』の指導法」開講（於：金沢学院大学5号館保育実習室）	・各実施講習の評価と省察を科目ごとに実施	
2021年2月下旬	・講習等の評価と省察、次年度に向けての改善案の策定		次年度開講に向け私立幼稚園協会等をはじめとする関連団体を通じ、受講者の意向調査等の検討を実施
2021年3月上旬	受講者へ「学力に関する証明書」等の発送		
2021年3月			・今年度実施講習の評価と省察を科目ごとに実施 ・次年度以降の取得希望状況等を確認し、開講科目及び内容の検討（受講ニーズの検討）

### （3）成果（事業の実績の説明）

2019年度及び2020年度と2年間にわたり本事業の委託を受け、従来石川県において開講されていなかった幼稚園教諭一種免許状への上進のための免許法認定講習を開講した意義は大きい。本事業の目的にもあげた、石川県における「上進のための免許法認定講習等が開設されていないのが現状」を変えた事実は、県下の幼児教育における資質向上の取り組みの一助になったといえる（下記、開設実績参照）。ただし、事業目的に記載のある「社会や現場のニーズに応えた適切な講習を開発・実施」については、課題が残された。

今回の免許法認定講習の実施に際して、石川県私立幼稚園協会による意向調査の結果では、県下の幼稚園教諭の中に、100名前後の上進ニーズがあることがわかっていた。しかしながら、講習を開講してみると講習全体での受講者は、24名（開講3科目合計で延べ71名）に留まり、当初事業概要に記載した「50名定員」を充足させての開講とは至らなかった。昨年度の反省を踏まえ、受講定員を各50名と変更したが、コロナ禍での本事業計画の変更等の対応にて、募集周知期間が短くなってしまったことやコロナ禍での受講控え等もあり、

昨年度からの継続受講生に留まった実態もある。

ただし、開設科目に関しては、事業計画にて予定した通りの科目を開講し、2020年度開講予定の5単位分の科目を実施できた。これにより、事業を開始した2019年度当初の計画に則った科目について、2年間ですべての開講が適った。その結果、昨年度から継続した受講生のうち、20名の上進が適うよう講習を完了することができた。

表1 令和2年度金沢学院大学幼稚園教諭免許法認定講習開講科目一覧

①開設実施科目一覧

新たに開設した 講習科目名 (単位数)	講習内容
グローバル時代 における幼児教育 実践概説 (2単位)	クレヨンや絵の具から「肌色」がなくなり、「薄橙（うすだいだい）」と表記が変わった。身近な例を挙げるまでもなく、グローバル時代と言われる変化は子どもの周囲に実在する。そうした状況の中、幼児教育・保育実践におけるグローバル化とはどう捉えられるのか。多国籍児への対応や宗教食などの問題をはじめ、グローバル化の時代を生きる子どもへの保育・教育のあり方をはじめ、実際のグローバル時代に則した実践事例等を理解しながら、グローバル時代における幼児教育・保育実践の輪郭について学習を深めていく。
教育心理学 (1単位)	幼児教育における学びの主体者は幼児である事に疑いはない。教育心理学では、機能的な側面から、この学びを「できる」「わかる」「ためす」とすることができる。実際、これは幼児教育において育みたい「資質・能力の三つの柱」にそのまま対応する。「できる」は「知識及び技能の基礎」、「わかる」は「思考力、判断力、表現力等の基礎」、そして「ためす」は「学びに向かう力、人間性等」となる。子どもたちの学びを支えるために、教育心理学では三つの柱に沿った学びの在り方や発達の仕方を整理しながら、幼児教育の場面学びの基本を問い直しながら理解していく。
子どもの「表現」 の指導法 (2単位)	平成30年度実施幼稚園教育要領をはじめとする改訂された3法令の趣旨を理解し、領域「表現」について乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。「3つの資質能力」や「主体的・対話的で深い学び」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」などを踏まえて、豊かな感覚を育む表現活動や「子どもの哲学絵本」などから具体的な子どもの姿を取り上げ、子どもを多様な視点から考える術を理解する。

②各開設科目の受講者数

講習科目名	受講者数	開設数
グローバル時代における幼児教育実践概説	24名	1
教育心理学	24名	1
子どもの「表現」の指導法	23名	1

表2 本事業を活用して幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員数

今年度受講者数	経験年数12年以上の受講者	今年度上進者（単位充足者数）
24名	23名	20名

○受講者アンケート結果

本事業終了にあたる講義最終日に、オンラインでの事後アンケートの依頼を参加者に伝達し、回答を依頼した。受講者24名中21名より回答結果を得た（回答率87.5%）。

アンケート項目に関しては、以下の項目を準備し、ウェブサイトにて回答できるよう準備し、任意の回答をお願いした。

その結果を列記し、今後の課題の整理とする。

(1) アンケート項目一覧

項目
<p>Q. 免許法認定講習の受講動機について以下の選択肢より、該当する理由をお選びください。（複数回答可）（必須回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から2種免許状から1種免許状へ上進を考えていたため。</li> <li>・園長等の管理職より、受講するよう勧められたため。</li> <li>・自分自身の資質・能力の向上のため処遇改善・キャリアアップのため</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>Q. 今後、本事業での単位修得者の皆様に対して、免許上進後1種免許状を取得後の勤務状況等の簡単な事後調査にご協力をお願いしたいと考えております。ご協力いただけますでしょうか。</p>
<p>Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。（必須回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不満・やや不満・やや満足・満足」の四件法にて回答</li> </ul>
<p>Q. オンライン受講に関してご自身の現在の受講環境状況をお教えてください。次年度開講形態の参考までにお聞かせ願います。</p>
<p>Q. 申込や当日の運営等でお気づきの点がございましたら、お聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述による任意回答</li> </ul>

Q. 開講科目（講習内容や実施形態・実施時間等）に関して、ご意見等がございましたら、お聞かせください。 ・自由記述による任意回答
Q. 講習全体を通してのご感想や次年度の受講に向けてのご要望等をお聞かせください。 ・自由記述による回答（必須回答）

(2) アンケート結果

まず、「Q. 免許法認定講習の受講動機について以下の選択肢より、該当する理由をお選びください。（複数回答可）（必須回答）」については、多くの参加者が資質向上の機会およびキャリアアップや処遇改善を第一の目的にしていることがうかがえる。資質向上や処遇改善を含めた、受講後のキャリアアップの実態についても追跡調査等にて実態把握が適うよう検討したい。

自分自身の資質・能力の向上のため・処遇改善・キャリアアップのため	100.0 % (21)
以前から2種免許状から1種免許状へ上進を考えていた。	42.9 % (9)
園長等の管理職より、受講するよう勧められたため。	14.3 % (3)
その他	0.0 % (0)

Q. 今後、本事業での単位修得者の皆様に対して、免許上進後1種免許状を取得後の勤務状況等の簡単な事後調査にご協力をお願いしたいと考えております。ご協力いただけますでしょうか。

協力できる	95.2 % (20)
協力できない	4.8 % (1)

Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。

「グローバル時代における幼児実践概説」

満足	100 % (21)
----	------------

Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。

「教育心理学」

満足	71.4 % (15)
やや満足	28.6 % (6)

Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。

「子どもの『表現』の指導法」

満足	85.7 % (18)
----	-------------

やや満足	14.3 % (3)
------	------------

以上の結果より、アンケートの回答者のみではあるが開講科目については、3科目ともに高い満足度を得ることができたと考える。以下、科目ごとの自由記述による感想からその内実を検討したい。

○科目「グローバル時代における幼児教育実践概説」に関する自由記述による感想

- ・子どもの学びにつながること、ひとりひとりに向き合う大切さ、色々と教えていただきました。ありがとうございます。
- ・子供達に英語の絵本を読むきっかけになりました。とても集中して、何度も読んでと（CD付で助かりました）お気に入りの絵本となりました。
- ・より詳しい知識を得ることができました。
- ・これからの英語の学びについて考えさせられました。
- ・講義として話を聞く機会が少ないので、大変ためになりました。
- ・今までは日本人のみのかかわりで十分であり、価値観も同じ事が多かったがもうこれからはグローバル時代に合わせた多様な価値観を受け入れ、自分の意見を出す事ができる子ども達を育てていく必要がある事を感じた。チャレンジをし、発想力を高める事。異を活かす教育の重要性を感じた。いろんな事柄にぶつかりながら、対話（言葉、思考、体験、社会、自然、自己、他者等）をしながら知識ではなく考える深い学びが大切になってきており、幼児教育でしっかり土台を作っていかなければならない事を感じた。今後子ども達の考えを引き出す機会、保育を展開していきたいと思いました。
- ・自分を変える勇気を持つことが大切。気づきがあった時に褒める。など、実践したいと思う。先生とのやり取りが子どもたちにとって大切というお話は英語に限らずいえることだと感じた。
- ・これからの時代に不可欠な事なのかなと感じました。
- ・講師の先生が毎回違ったが、講義が大変興味深く、学ぶことが多かった。
- ・今、現在の学生がどんな勉強をしているか、社会がどんな人物を求めているか少しですが、理解できたように思います。いろいろ学べて楽しかったです。ありがとうございます。
- ・どの先生方の講義も興味深く、更に学びを深めたい内容でした。仕事をしながら、なかなか聞くことのできない内容で有り難かったです。
- ・外国の絵本を紹介してもらい、園でも読みました。知る機会になりよかったです。
- ・小学校の英語教育にも興味があったので、どんな内容で授業がされているのかなど分かり興味深かった。また、歌やゲームなど実際にやってみて自分自身も楽しんで参加することができた。

○科目「教育心理学」に関する自由記述による感想

・子ども達が安心して過ごせるような関わり方、愛着の大切さを改めて学ばせていただきました。教えて頂いたことを大切に保育をしていきたいと思えます。ありがとうございました。

・難しくもっと時間をかけて学びたいと思いました。

・改めて見直すことができました。

・難しい内容でしたが、現場に出てからもう一度教育心理学を学ぶことで、理論と実践が少し重なったように感じました。

・難しく考えがちな心理学ですが、興味を持てる内容でした。

・人の発達についてや乳児期、幼児期、就学前期、学童期等の心理社会期的な発達等様々な事を理論的に学ぶことができました。現場の子ども達の様子を浮かべたりしながら学びを進める事ができました。学習や認知についても理論的に学習でき、記憶では実際に実技も取り入れていただきながら学ぶ事が出来ました。子どもの発達の順序ではワークシートを使って自分で書いたものと実際に違いがあり当たり前になっている事でも違う事に気づかされました。動機付けの授業では立って感を得られるような課題、失敗を恐れない雰囲気づくり、知的好奇心を引き出す環境、自己決定の支援等を取り組む事で動機づけは高まる事を学びました。何でも賞罰はよくない事も感じ今後の子ども達の心について理解が深まり子どもの姿のとらえ方やかかわり方をかんがえさせられました。学びが深かったです。

・繰り返す事が、学習となる。愛着は心理的発達の基盤となる。というお話に、どんどん実践していこうと思った。

・子どもの前に立つものとして、色々な問題に寄り添える先生でありたいと思いました

・経験だけで保育をしていた自分を反省し、考えさせられる講義だった。

・毎年たくさんのこどもたちと関わりますが、新しい関わり方と接し方を学べた気がします。

・自分のやり方に固執せず保育をしていきたいと思いました。ありがとうございました。

・頭がパンクしましたが刺激的な時間でした。2日間しかなかったのでハードでした。

・難しくもう少し時間をとりゆっくり学びたいと思いました。

・就職してからあまり学ぶ機会のない内容だったので、初めて知ることもあり、参考になった。

### ○科目「子どもの『表現』の指導法」への自由記述による感想

・様々な造形材料を知ったり、参加者との意見交換をさせていただき、保育の幅や考え方が増えました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

・実際に作ったり、話し合いをしたり、発表をしたりと、先生達ともコミュニケーションをとれ、楽しく学ばせて頂きました。

・保育の現場で実践できるものが沢山あり、よい時間になりました。

・教材作りをしながら、自園の先生たちともこの講習での学びや気づきを共有することができました。

・保育の実践に近い内容で、子どもたちの声に寄り添うということについて改めて考える良い機会となりました。金沢学院の先生方や他の園の先生と色々な話をしたり、アイデアをいただいたりととても有意義な時間を過ごすことができました。楽しかったです。

・子ども達の表現の力について改めて気づかされました。子ども達の表現を支える保育者のあり方や共感し、認めていく事等多く事を学びました。写真を使って子ども達の声を引き出す事もとても勉強になりました。子ども達は私たちが思っている以上にいろいろな事を考え表現する力があることを感じました。教材づくりではいろいろ悩みましたが子ども達を教える教材ではなく子ども達を観て作る視点を持つ事の大切さに気付かされました。20年もしていると頭が硬くなっています。今後の教材研究や子ども達の姿を観る視点が変わりそうです。とても勉強になりました。

・絵本、教材を手作りしたことで保育の幅が広がったように感じる。いい経験ができた。子どもたちと新たな発見もできた。

・子ども主体に考え、子ども自ら表現できるように導く事の大切さを学びました。特に、作品を作って実践してみたり、他の先生方の発表をお聞きして、スキルアップにつながりました。

・子どもたちと向き合いことの大切さを改めて感じる事ができた。教材作りは大変だったが、次第にわくわくした気持ちになっていく自分がいた。他の先生方からも学ぶことができて良かった。

・教材作りは少し苦手でしたが、グループディスカッションでたくさんのアイデアを頂き少し苦手意識がなくなった気がします。自由にやらせて頂いたことで、教材作りもとても楽しかったです。講義も学びが多く、ありがとうございました

・現場の子ども達と向き合いながら学べる講義内容で非常に学びやすかったです。また、教材作りなど物とこれだけ時間をかけて向き合うことが普段なかなかできないので良い時間を過ごせました。

・体験を通しての学び、先生方とコミュニケーションを取りながら楽しく学ばせて頂きました。

・課題が多く大変だったが、その分他の先生方の実践された内容を聞いたり、話し合ったりする機会が多く勉強になった。

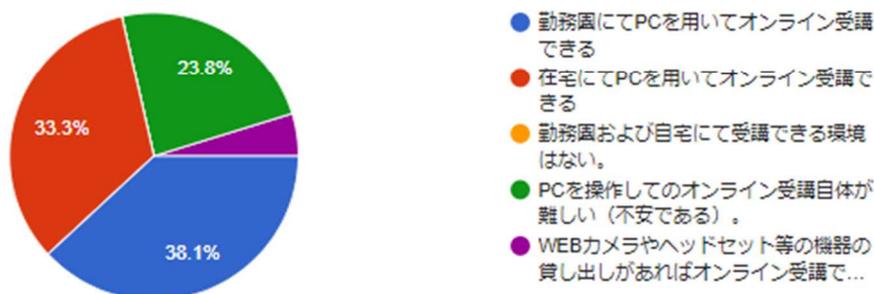
以上、科目ごとに得られた感想を列記した。各科目により受講者が抱いた感想は様々ではあるが、単なる知識習得のみでなく、自身の教員経験を振り返りつつ、学習内容を習得し、省察的な学習の機会となっている様子がうかがえる。特に、「子どもの『表現』の指導法」に関しては、演習科目としての実践的学びが深まる様子が顕著であった。

#### Q. オンライン受講に関する項目

オンライン受講に関してご自身の現在の受講環境状況をお教えてください。次年度開講形態の参考までにお聞かせ願います。



21件の回答



質問	回答
勤務園にてPCを用いてオンライン受講できる	38.1% (8)
在宅にてPCを用いてオンライン受講できる	33.3% (7)
勤務園および自宅にて受講できる環境はない。	0.0% (0)
PCを操作してのオンライン受講自体が難しい(不安である)。	23.8% (5)
WEBカメラやヘッドセット等の機器の貸し出しがあればオンライン受講できる	4.8% (1)

当日の運営等に関する事項では、コロナ禍での開講への意見、会場等に関するユーザー目線での意見・感想を得ることができたので今後の開催時の参考にしたい。

**Q. 申込や当日の運営等でお気づきの点がございましたら、お聞かせください。**

- ・今年度初めて申し込みをして参加いたしました。申し込みの案内から申し込みまでの期間が短かったので、ちょっと慌てました。
- ・スムーズに申し込みができましたし、受講においても大きな問題もなく終えられたと思います。体温計測や適宜案内をしてくださっていたので安心して受講できました。新型コロナウイルスの対応で大変な面もあったかと思いますが無事全日程を終える事ができて感謝しています。
- ・コロナ禍に開講していただき、ありがとうございました。
- ・ありがとうございました！しかありません。

開講科目への意見・要望等に関しては、現職教諭としての参加日程の希望時期と急な欠席等への代替日確保の難しい様子が伺えた。

**Q. 開講科目（講習内容や実施形態・実施時間等）に関して、ご意見等がございましたら、お聞かせください。**

- ・2月の講習は年度末に向けてなかなか慌ただしかったので、できれば夏までに終わるような形が希望です。
- ・コロナ禍ですが、ディスカッションはしたいです。他園の保育を知ることができますし、先生方の話を聞くことで、自分の保育観を再確認することができ、よい機会となるように思います。
- ・夏休み中の講義の日程は、平日のためお休みをもらっての参加となりました。行事によっては参加が難しい日もありましたので、参加者からすると、土曜日がありがたかったです。
- ・2年を通じて日程がうまく合い、単位に影響する授業数は出席できましたが、発表会等行事が重なった時もありました。今年もお泊り保育が重なったのですがコロナの為に中止になったので参加できました。すべての園の調整は不可能かと思いますが、土曜日は園で発表会、運動会を入れる園が多いかと思いますが運動会の9月末～10月初旬や7月中旬～8月上旬ごろ、11月中旬～12月2週ごろ、年度末の2月は避けるか2コマずつにする等対応をされてもいいのではと思います。2単位で2コマであれば単位の影響が少ないので（その分登校回数は増えますが）2月は年度末なのでちょっと今回は大変でした。（特に課題があり子ども達を動かす必要があったので）受講スタイルであれば2月も問題ないと思います。
- ・全てが学びになりました。
- ・2月の講習は年度末に向けてなかなか慌ただしかったので、できれば夏までに終わるような形が希望です。

次に、講習全体を通じての感想・要望への回答から本事業での免許法認定講習の開講の在り方に関しての今後の課題を検討したい。

**Q. 講習全体を通してのご感想や次年度の受講に向けてのご要望等をお聞かせください。**

- ・2年間、お世話になりました。コロナ禍で大変な中、講習できる環境を整えて下さりありがとうございました。
- ・今回は本当にありがとうございました、とても勉強になりました。娘たちが保育の道へ進むと言った時は金沢学院で学ぶことを勧めます。
- ・色々なところに配慮いただきましてありがとうございます。先生方の講義を直接聞かせていただきまして自分にとってもとても有意義な時間でした。自園でも学んだことを役立てていけたらと思います。
- ・コロナが増えている中、感染対策をしっかりと取っていただきありがとうございました。安心して受けることが出来ました。
- ・今回、コロナということで急だったのは仕方ないのですが、日程などもう少し早くわかると園に迷惑がかからないと思いました。色々と変わってもらったりと調整もあったので。
- ・講師の先生方の熱心なご指導ありがとうございました。改めて深い学びになり、今後の保育へ反映させてスキルアップしていきたいと思っております。ありがとうございました。

- ・保育に関して改めて詳しく勉強でき、よい時間になったと思います。
  - ・2年間、同じ先生方と顔を合わすことができ楽しかったです。色々な情報交換の中で、保育の楽しさや難しさも話すことができ、充実した講習となりました。この講習を終えて免許が上進すると、免許更新を受ける年度が変わるのか、制度を知りたいなと思いました。
  - ・全てが終わり今振り替えると、大変ではありましたが、充実した時間を過ごせたと感じています。一人で学ぼうと思ってもなかなか難しいことも多いので、日程が決まっていることで出来た部分も多いと思っています。ありがとうございました。
  - ・学生に戻ったような2年間でした。20名ほどの先生方と一緒に学びあう事ができ、交流もできて楽しく深い学びをたくさん受ける事ができました。現場もありながらの受講で大変な面もありましたが保育に生かせるヒントがたくさんあり、勉強になりました。金沢学院大学の先生方はどの先生も熱く一生懸命で20年の現場で硬くなった頭を揺さぶってくださいました。子ども達とのかかわりや教材等いろんな面で学びをすでに活かしています。先生方との出会いに感謝します。コロナの中で大変だったと思いますが、やはり対面での授業は先生との心の触れ合いがあってとてもよかったです。お世話になりありがとうございました。
  - ・みなさんと一つの目標に向かってお勉強ができたことがよかった。
  - ・講習は大変でしたが、学ぶ事が少なくなった自分にとっては、毎回とても楽しいものでした。webよりは出向いての講習の方が他の先生方とも情報交換ができるので、嬉しいです。又、気候の良い時がありがたいです。
  - ・金沢学院大学の実習生を受け入れたくなりました。そのくらい先生方の熱意を感じました。
  - ・いろいろコロナ対策にお気遣いありがとうございました
  - ・他校で通信での受講形態もありますが対面で先生方の講義を受け、他園の先生方と情報交換もできて良かったです。金沢学院大の先生方の熱い思い温かさを感じました。コロナの状況があるなか様々な配慮をして開講して頂きありがとうございました。
  - ・もう少し早い時期に講習の日程がわかれば助かります
  - ・とても勉強になりました。自分の保育を見直すいい時間が持てました。
  - ・2年間で10単位とれるよう開講していただき有難かった。
  - ・久しぶりにしっかりと勉強する機会となり、また学生時代と違い実践と照らし合わせて理解することが出来たのがよかった。よい機会をありがとうございました。
- まず、全体を通じて、コロナ禍での開講となったが、受講者の不安を払拭しつつ、感染症予防対策を講じて開講したことが受講者にとって満足度の高い上進講習の機会として機能したことがうかがえる。また、2年間の継続した学びの成果を実感している受講生が多く、開講科目数と開講期間（2年間で10単位）についても継続した資質向上として機能している様子が伺える。運営実施側からの感想ではあるが、2か年の継続開講からも受講生同士の交流が深まり、共に一種免許状取得を目指す仲間としての一体感も出てきている様子も感じられた。このことから、石川県内各地から参集した現職教員が、お互いに意見や情報を交

換したり、議論したりすることで、地域単位での資質向上の機会として本講習が機能していると感じられた。

また、対面での実施についての良さを訴える意見もみられるため、科目によっては対面での実施の良さが学びの機会として重要であることが考えられる。科目担当者の力量に感謝するところである。

なお開講時期に関しては、現職教諭ならでは意見・要望が得られた。今年度はコロナ禍での計画の変更等があり、開講日程の確保が難しい面もあった。アンケート結果からも多くの幼稚園教諭が夏休みまでの受講完了を望んでいる様子であるので、次年度以降の開催の際は開講日程を夏休み終了までを目処として計画していきたい。

#### (4) 今後の課題・展望

今後の課題としては、2点、コロナ禍での講習の開講形態の検討と、開講日程と他の講習とのタイアップである。

コロナ禍での開講形態については、今回、計画実施前に開講形態等についての再検討を行った際には、オンライン受講に関して、実施側・受講者側ともに後ろ向きな面が存在した。そのため、感染症対策を十分に講じた上で、対面での実施を行った経緯が存在する。しかしながら、1年に及ぶコロナウイルスへの対応を経て、実施側も受講者側もオンラインでの受講を含め、感染予防を徹底した対応ができる様子も伺える（事後アンケート調査「オンライン受講に関する質問」結果より）。

次年度以降は、オンラインでの開講も含めた講習形態も検討していきたいと考える。ただし、受講者へのアンケート調査結果にもある通り、対面での学びの効果の高さ・満足感も非常に高い様子が伺えるため、対面での実施が困難な状況への対応として検討を行いたいと考える。

また、開講日程・期間についてであるが、昨年度よりの2か年の開講を終え、受講生のアンケート調査結果にもあるように、2か年サイクルでの開講の良さもあることがうかがえた。仮に、1年間で上進を達成するためには、12年以上の経験年数を有している現職教諭であっても、最低必要単位数は10単位であり、おおよそ22日間以上の受講日数を必要とする（1日＝90分講義を4コマで算定）。その日数を現職教諭の夏休み期間、及び休日を活用したとして、かなりタイトかつ開講できる日が限定的である実態も存在する（受講者アンケートより）。

石川県における免許上進希望者の潜在ニーズを考慮したとすれば、免許法認定講習として安定的に上進の機会を保障していくためには、2ヵ年での上進を想定した開講科目および日程での開講が妥当なのではないかと思われる。現場の幼稚園教諭のニーズに沿い、8月までの受講完了を想定すると、1年間におおよそ10日間程度の講習を2年継続して開講していくことが妥当であるように思われる。

また、他の研修・講習とのタイアップについては、次年度以降の開講科目において、免許

状更新講習との相互認定となるよう開講科目を用意し、現職幼稚園教諭にとって、負担を減らしつつ、充実した講習内容を用意したいと考えている。